

丹沢大山総合調査実行委員会平成 16 年度事業概要報告

1 実行委員会等開催

実行委員会を 4 回、調査企画部会を 4 回及び県民広報参加部会を 5 回開催した。

2 広報事業

調査の趣旨や調査内容、結果等について、常時、幅広い層の県民に情報提供するため、関係団体や協賛企業の協力のもとに、多様な媒体により広報事業を行った。

(1) ポスター等の作成・配布 (ポスター 2,000 枚、チラシ 30,000 枚、パンフレット 28,200 部)

(2) ホームページの運営

(3) ニュースレターの発行・配布 (1号、2号)

・調査状況の紹介と時事ニュース 小学校高学年以上対象

・発行部数：各回 30,000 部 1号 H16 年 11 月、2号 H17 年 3 月

(4) その他

・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等への広報

・グッズ等作成 (腕章、のぼり旗、無料配布グッズ)

3 県民参加型事業

(1) 利用実態調査、アンケート調査

・実施主体：丹沢大山ボランティアネットワーク (地域再生チームと連携して実施)

・実施内容：丹沢山域の主要な山頂・登山道における利用実態を調査 (往来人数を時間的に計測)

・実施日：平成 16 年 11 月 13、14、20、21 日 (調査員 71 名)

(1) 利用実態調査、アンケート調査

・実施主体：丹沢大山ボランティアネットワーク (地域再生チームと連携して実施)

・実施内容：利用実態、登山道への要望などをアンケート

・実施日：平成 16 年 10 月～3 月 (毎月 1 回実施 調査員 60 名)

(2) 県民参加のコーディネート事業

平成 17 年 3 月 24 日現在 238 名登録

人材登録バンク活動実績

・調査団調査 地域再生調査チーム 登山道荒廃状況調査 (のべ 22 名)

・公募型調査 プナ健康度調査：丹沢プナ党 (のべ 10 名)

大量のゴミ実態調査：みろく山の会 (のべ 7 名)

丹沢大山水系の水質調査：丹沢大山ボランティアネットワーク (12 名)

・県民参加型調査 登山道利用実態調査：丹沢大山ボランティアネットワーク (2 名)

・ニュースレター原稿作成 (タイトル・写真等) 協力 (6 名)

・広報チラシの配布協力 (25 名)

・シンポジウム、中間報告会の運営の協力 (のべ 15 名)

4 公募型事業

・募集 H16 年 5 月 1 日～6 月 15 日

・1 次審査 H16 年 6 月 17 日、2 次審査 H16 年 7 月 4 日

・選定結果

丹沢山地のプナ林健康度調査：丹沢プナ党

丹沢大山水系の水質調査：丹沢大山ボランティアネットワーク

丹沢大山の大量堆積ゴミの実態調査：みろく山の会

丹沢写真・資料展の開催：丹沢資料保存会

- 5 丹沢大山総合調査中間報告会開催
 - ・平成 17 年 3 月 27 日
 - ・場所：はまぎんホールヴィアマーレ
 - ・一般県民、関係者等の参加のもとで、丹沢が抱えるさまざまな問題、何を調査し、どこまで分かったか、丹沢再生を目指して中間報告とパネルディスカッションを実施

- 6 丹沢大山保全・再生セミナー開催
 - ・調査企画部会との共催
 - ・一般からも参加を募り、調査団の専門家から丹沢の現状、調査状況について講義をいただく勉強会
 - ・H16 年 8 月～H17 年 1 月まで毎月 1 回計 6 回開催 延べ 594 人参加

- 7 調査団調査事業
 - ・調査団に設けられた 4 つの調査チーム「生きもの再生調査チーム」、「水と土再生調査チーム」、「地域再生調査チーム」及び「情報整備調査チーム」が平成 16 年 4 月から調査活動を開始し、調査活動状況を丹沢大山保全・再生セミナーで県民に公表するとともに、中間成果を取りまとめ、平成 17 年 3 月 27 日に開催した中間報告会で発表した。

平成 16 年度実行委員会開催状況

実行委員会の開催状況

回数	開催月日	上段：開催場所 下段：主な内容
第 1 回	3月28日(日)	神奈川県庁本庁舎 3 階大会議場 規約案、役員・部会員選任、事業計画・予算案、調査計画・調査団編成について
第 2 回	7月4日(月)	神奈川県庁新庁舎12階 A B 会議室 公募型事業の選定方法及び審査・選考
第 3 回	10月30日(土)	神奈川県建設会館新館 2 階講堂 調査状況、政策検討の進め方、緊急対策等について 広報県民参加事業の経過と今後の事業予定
第 4 回	3月27日(日)	はまぎんホールヴィアマーレ 平成16年度事業概要報告及び収支決算報告について 平成17年度事業計画(案)及び予算(案)について